

平成30年度事業概要報告書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

平成30年度の国内農業は、TPP11が昨年末に、2月には日欧EPAが発効するなど世界情勢が変化し、日本農業の市場開放は急加速し、かつてない自由貿易が進んでいる。こうした中で、企業は人材の確保や省力化に向けた取り組みを迫られており、人手不足感の高まりを反映してパートタイム労働者を中心に賃金が上昇しているような状況となっている。

和牛を巡る状況は、全国的に繁殖雌牛の更新あるいは導入により、減少に歯止めがかかりつつも、少子高齢化の波は避けられず農家戸数の減少は各種畜とも同様な傾向である。さらに、子牛市場価格は高値で推移しているものの素牛不足は解消されておらず、枝肉相場の低落も相俟って肥育農家の経営を圧迫していることも懸念されている。今後は、安定した和牛生産を持続していくためにも、より一層生産性に優れた優良雌牛を確実に地域内に保留し、子牛を増頭させつつ、将来に向けて和牛経営全体の安定を図らなければならない大事な時期となっている。

さて、和牛登録事業については、子牛登記頭数は31,447頭（前年度対比100.4%）で去年からの母牛登録増により微増傾向がみられ、高等登録頭数は94頭（同97.9%）で高等登録に対する一定の理解がみられた。基本・本原登録は、4,239頭（同102.0%）で、一部の離島の大型牧場において、県外からの多数の導入が見られ増頭に転じた。県委託事業を活用して、各和牛改良組合や黒島、与那国町において継続してきた講習会の成果が見られ、繁殖雌牛においては分娩間隔の短縮や審査得点の上昇など着実に本県のレベル向上に貢献している。また、肉用牛情報ネットワークシステムを利用し、農家個別ごとの実績報告システムを構築し、農家において子牛生産からセリ結果まで一目瞭然で、いち早く情報の提供ができるようになってきた。第12回全共鹿児島大会の第4区繁殖雌牛群の対策として、ゲノミック育種価を活用した事業を沖縄県畜産振興公社より委託を受けて実施した。

乳牛については、血統登録は406頭（同131.8%）で、農家戸数減少の中でも登録頭数は増加している。要因としては、素牛購入高により農家自身で後継牛を育成する傾向が見られ、また、県の家畜改良センターにおいて性判別精液などを活用したことで、効率的に雌子牛が生産され、血統登録増頭に結びついた。

種豚については、種豚登録は190頭（同109.8%）で増加し、子豚登記は392頭（同89.7%）で減少している。種豚登録増の要因としては大型種豚場の更新のための種豚導入によるもので、子豚登記は、県委託事業で行っていた事業が終了したことにより減少している。今後は、農家を巡回し登録事業の意義を伝え、登記・登録など啓発に努めていきたい。アグー豚証明頭数は60頭（同60.9%）で減少しており、生産農家への登録啓発が不足していたと思われるので、次年度は、アグーブランドを確立させるためにも、生産農場に対し登録を促していきたい。

山羊については、産子登録は23頭（同255%）で、会員も増加しており、山羊の登録に対する理解が着実に生産農家に浸透している。

本会が取り扱う沖縄県及び一般社団法人家畜改良事業団の肉用牛精液等については、平成30年度にあっては沖縄県約8千4百本、家畜改良事業団約1万9千7百本余りの精液を斡旋し、人工授精師の需要にえている。

県、公社、関係団体等からの助成事業、委託事業については前年度同様で、事業の推進には積極的に取り込み沖縄県全体の家畜改良に寄与している。

次年度においても各関係機関との連携を強化し、本県の家畜改良の発展に貢献する登録事業の展開を推進させ、会員農家へのサービス向上、農家の経営向上に貢献していきたい。

平成30年度事業実績

1. 家畜の登録、登記、検定

家畜改良増殖法により承認された各種畜の登録規程に基づき、次のとおり登録、登記、検定等を行った。

登録登記検定頭数				
種 畜	登録登記の種類	平成30年度実績	平成29年度実績	増 △ 減
乳 牛	血統登録	410	308	102
	移動証明	133	151	△18
和 牛	高等登録	94	96	△2
	本原登録	1,378	1,311	67
	基本登録	2,861	2,841	20
	子牛登記	31,447	31,317	130
	血統証明	290	262	28
種 豚	産子検定	0	12	△12
	産肉検定	26	0	26
	種豚登録	190	173	17
	子豚登記	392	437	△45
山 羊	産子登録	23	9	14
	合 計	37,244	36,917	327

2. 家畜改良振興事業

家畜改良対策の一環として家畜審査講習会、家畜人工授精師養成講習会への講師派遣、農林高校の家畜審査協議会の開催支援・講師派遣、農業大学の育種改良講義の講師派遣、和牛改良組合、市町村、南部・中部・北部・宮古・八重山各地区、県等各共進会への審査派遣（主な行事で記載）を行い、日常での農家指導等も行ってきた。

1) 肉用牛の家畜審査講習会

畜産共進会の審査技術の向上を目的として、家畜審査講習会を開催した。

○ 平成30年 6月29日 今帰仁村家畜市場 受講者数 52名

2) 沖縄県主催の家畜人工授精師(牛)及び山羊人工授精師養成講習会における家畜審査科目の講義等を担当し、生産現場における人材育成に協力した。

○ 平成30年 8月 8日 県立農業大学校 受講者数 13名

○ 平成30年11月12日 畜産研究センター 受講者数 4名

3) 沖縄県農業大学校における家畜育種の一環として家畜の改良の講義を担当し、後継者の指導・人材育成に協力した。

○ 平成30年7月 3日 県立農業大学校 受講者数 10名

4) 和牛改良組合、市町村、南部・中部・北部各地区、県共進会へ審査委員を派遣し、種畜の審査・農家指導を行った。(主な処理事項に記載)

5) 県内の乳用牛の生産性向上のため体型データの収集と評価を行い、生産農家に乳用牛の改良及び経営改善指導等を行った。

○ 平成30年 6月 6日～ 8日 調査酪農戸数11戸 調査頭数 27頭

○ 平成30年11月15日～16日 調査酪農戸数 5戸 調査頭数 14頭

3. 肉用牛振興推進指導事業(全国肉用牛基金協会共催事業)

竹富町黒島及び与那国町において、繁殖能力及び産肉性等について調査分析し、繁殖雌牛の体型比較検討会及び研修会を行った。

○ 平成30年12月 4日 与那国町製糖工場 受講者数 12名

○ 平成31年 1月31日 黒島家畜市場 受講者数 29名

4. 繁殖雌牛改良促進事業(沖縄県委託事業)

県内基礎雌牛の選定と計画交配、地域の繁殖雌牛の改良促進、計画交配によって選定された雄子牛の産子調査及び産肉能力検定(直接法)候補牛の選定を行った。また、各改良組合において、地域の特徴を伸ばすことや、地域の問題点を課題に取り上げるとともに、飼養管理技術の向上を図るための研修会を実施した。

○ 平成30年10月22日 南部家畜市場 受講者数 27名

○ 平成30年10月23日 久米島家畜市場 受講者数 15名

○ 平成30年10月24日 今帰仁村家畜市場 受講者数 23名

○ 平成30年10月25日 伊江村家畜市場 受講者数 20名

○ 平成30年12月 3日 八重山家畜市場 受講者数 35名

○ 平成30年12月26日 宮古家畜市場 受講者数 49名

5. 沖縄県優良肉用牛生産推進事業(沖縄県畜産振興公社委託事業)

県内優良肉用牛生産基盤及び肉質向上推進のため県内生産農家に脂肪交雑の上位1,000番以内の母牛に優良種雄牛の交配シミュレーションを通して計画交配を推進させ、期待の期待、期待育種価などを送付して経営改善に資した。また、今年度より新たな情報として分娩間隔や初産月齢・分娩間隔育種価と言った種牛能力も併せて送付し、同時に研修会や農家指導を行った。

○ 平成30年 9月10日 交配シミュレーション、推定育種価、期待、期待の期待育種価、分娩間隔、初産月齢・分娩間隔育種価 送付件数 686名

○ 平成31年 2月 7日 交配シミュレーション、推定育種価、期待、期待の期待育種価、分娩間隔、初産月齢・分娩間隔育種価 送付件数 304名

○ 平成31年 1月30日 家畜審査講習会(南部家畜市場) 受講者数 22名

6. 全国和牛能力共進会出品対策事業

平成31年2月に京都で開催された現場後代研究会に出品するため、肥育牛のスキャンや解析、外貌記載審査などを行い、茂北福を出品して県種雄牛のPRに寄与した。また、第12回全国和牛能力共進会の第7区脂肪の質評価群の対策として、県食肉センターにおいて、オレイン酸等の測定を行い、県種雄牛のデータ収集を行った。

7. 家畜人工授精精液取扱事業

一般社団法人家畜改良事業団熊本種雄牛センター及び沖縄県畜産研究センターからの家畜人工授精精液は、下記の要望本数を斡旋し、家畜人工授精師の需要に応えた。

事業団精液取扱本数：黒毛和種 19,772本、乳牛190本 ジャージ種10本
沖縄県精液取扱本数：黒毛和種 8,370本

8. おきなわ山羊改良基盤整備事業（沖縄県一括交付金活性化事業）

おきなわの山羊の生体重83kg、枝肉重量45kgを目標に生産するため、大型山羊の優良種畜の測定や選抜、選定を実施して、52頭の優良山羊を決定し、山羊農家の基盤整備を行った。

北部地区：13頭 中部地区：15頭 南部地区：19頭 八重山地区：5頭

9. ゲノミック育種価優良雌牛保留事業（沖縄県畜産振興公社委託事業）

家畜改良事業団のゲノミック評価を活用して、ゲノミック育種価等の優秀な雌牛の保留促進と第12回全共鹿児島大会第4区に係る出品候補牛を拠点産地を中心に選定を行い、1頭8万円の保留対策を行った。

伊江村：12頭 今帰仁村：10頭 宮古島市：6頭 石垣市：8頭
糸満市：2頭

10. その他事業

○指定種豚場連絡協議会指定種豚場に対し純粋種豚の登記・登録料金に係る半額助成を行った。

○沖縄県和牛改良組合連絡協議会に対し第12回全共鹿児島大会の出品区の説明や直接検定候補牛選抜された組合に組合活動資金として奨励金などの助成を行った。

○沖縄県人工授精師協会に対し和牛精液国外輸出禁止に対する啓発と県種雄牛の育種価情報提供を行った。また、授精師協会の組織に対し運営助成を行った。

運営管理に関する事項

I. 会員の状況

今年度の会員数は、3,169名（前年度比101.5%）、前年度から48名増加した。

		平成30年度	平成29年度	増減
会 員	乳牛会員	38	40	△2
	和牛会員	2,848	2,860	△12
	種豚会員	15	18	△3
	種馬山羊会員	266	201	65
	団体賛助会員	2	2	0
	計	3,169	3,121	48

II. 主要会議等の開催

1. 定時総会

平成30年6月27日 沖縄県家畜改良協会 1階会議室

報告事項

- 第1号報告 平成29年度事業報告
- 第2号報告 平成30年度事業計画報告
- 第3号報告 平成30年度収支予算報告

提出議案

- 第1号議案 平成29年度財務諸表の承認に関する件
- 第2号議案 平成30年度会費の決定に関する件
- 第3号議案 定款の一部変更承認に関する件
- 第4号議案 平成30年度役員報酬に関する件
- 第5号議案 理事及び監事の選任に関する件
- 第6号議案 付帯決議に関する件

その他 第12回全国和牛能力共進会について

2. 定時理事会

第1回 平成30年6月6日 改良協会1階会議室

議案

- 1 平成29年度事業報告に関する件
- 2 平成29年度財務諸表の承認に関する件
- 3 定款の一部変更承認の件
- 4 職員採用に関する件
- 5 役員改選に関する件
- 6 定時総会の開催並びに提案する議案に関する件
- 7 那覇労働基準監督署の是正勧告に関する件
- 8 付帯決議に関する件

その他

業務執行報告

- (1) 第12回全国和牛能力共進会について

第2回 平成30年10月24日 改良協会1階会議室
議案

- 1 家畜改良協会規則等の一部改正に関する件について
 - 2 社員選挙に関する件
 - 3 子牛登記4代祖表示に関する件
 - 4 付帯決議に関する件
- その他

業務執行報告

- (1) 職務の重要事項の処理状況について
- (2) 平成30年度4月～9月期の登記・登録頭数の進捗状況について
- (3) 平成30年度4月～9月期の収支状況について
- (4) 諸事業の進捗状況について

第3回 平成31年3月22日 改良協会1階会議室
議案

- 1 平成30年度補正予算について
- 2 平成31年度事業計画について
- 3 平成31年度収支予算について
- 4 家畜改良協会規則等の一部改正に関する件について
- 5 参事採用について
- 6 付帯決議について

業務執行報告

- 1) 平成30年度登記・登録事業の進捗状況について
- 2) 平成30年度収支状況について

臨時理事会

平成30年6月27日 改良協会応接室

議案

- 1 会長、副会長、専務理事の選任について
- 2 子牛登記書4代祖表示について

3. 監 査

平成30年5月28日 改良協会1階会議室

平成29年度事業報告書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書及び関連帳表等について監事の監査を受け、承認を得た。

4. その他の主要会議等

- (1) 平成30年6月6日
平成30年度役員候補選出委員会
- (2) 平成30年10月26日
第1回社員選挙管理委員会
- (3) 平成30年11月5日
第2回社員選挙管理委員会

主な処理事項

年月日	処理事項
平成30年 4月 4日	労働基準監督署上原調査官が立入り検査
10日	外間経営労務管理事務所比嘉社会保健労務士と相談
16日	三役調整会議
13日	中央審査委員会（京都：全和本部）
20日	肉用牛改良専門委員会
27日	肉用牛改良会議・肉用山羊生産振興協議会
5月 1日	三役調整会議
2日	労働基準監督署に対する報告書提出、協会職員説明会
11日	伊江村子牛共進会
24日	日本人工授精師協会理事会
28日	決算監査
29日	沖縄県畜産共進会協議会運営委員会、今帰仁和牛改良組合総会
31日	九州ブロック支部長会、審査講習会（佐賀県）やんばる和牛改良組合総会
6月 4日	農林高校家畜審査競技会、中部地区和牛改良組合総会
6日	役員候補選考委員会、第1回定時理事会（事業報告・決算、通常総会開催）
13日	沖縄県畜産共進会協議会総会
20日	和牛改良組合連絡協議会総会、第12回全共出品対策会議
21日	全国和牛登録協会70周年記念式典
22日	全国和牛登録協会総会
25日	三役調整会議
27日	家畜改良協会定時総会・臨時理事会
29日	肉用牛家畜審査講習会（県、農協、市町村向）、実績報告、決算書の行政庁届出（電子申請）
7月 2日	正職員採用（下地貴士）
3日	家畜育種講習会（農業大学校）
5日	農林高校家畜審査競技会
6日	乳用牛牛群体型調査（～8日）
9日	三役調整会議
12日	ホル協主催九州ブロック研修会（沖縄県）（～13日）
14日	九州地区和牛登録事務研修会（福岡県）
19日	日人協九州地区連絡協議会（福岡県）
26日	指定種豚場連絡協議会総会
8月 1日	今帰仁村畜産共進会
2日	国頭村畜産共進会
3日	本部町畜産共進会、沖縄県人工授精師協会総会
8日	肉用牛家畜人工授精師講習会
9日	金武町畜産共進会
10日	豚改良協議会
15日	NZランド山羊調査（～22日）
19日	名護市畜産まつり
22日	宜野座村畜産共進会
27日	肉用牛改良専門委員会
28日	糸満市畜産共進会、畜産振興対策推進協議会
29日	八重瀬町畜産共進会、中部地区クラスター会議
30日	豊見城市畜産共進会
31日	伊江村畜産共進会、うるま市畜産共進会、南城市畜産共進会、九州枝肉共励会
9月 3日	宮古地区畜産共進会
4日	読谷村畜産共進会

年月日	処理事項
9月 5日	日本ホルスタイン登録協会創立70周年記念式典
6日	久米島町畜産共進会、沖縄市畜産共進会
11日	西原町畜産共進会
14日	第1回沖縄県畜産振興推進協議会
18日	アグーブランド推進協議会
21日	中部地区畜産共進会
23日	八重山郡畜産共進会
25日	九州地区ブロック和牛改良組合研修会（～26日）
26日	南部地区畜産共進会
10月 2日	高等登録及び雌牛改良促進事業実施（宮古地区～4日）、北部地区畜産共進会
3日	沖縄県畜産共進会運営委員会
15日	三役調整会議
18日	会計勉強会
22日	高等登録及び雌牛改良促進事業実施（糸満市、北部地区、伊江村～26日）
24日	第2回定時理事会
26日	第1回社員選挙管理委員会
29日	肉用牛改良協議会
11月 1日	「うちない肉の日」キャンペーンイベント（県民広場）
2日	沖縄県畜産共進会（種畜部門）
5日	第2回社員選挙管理委員会、地方審査委員認定講習会（長崎県）
9日	沖縄県畜産共進会枝肉部門 閉会式・褒章授与式（マリエールオークバイン）
13日	本部牧場産肉・繁殖成績に係る勉強会
15日	乳用牛牛群体型調査（～16日）
19日	肉用牛改良専門委員会（畜研センター）
25日	宜野湾市畜産共進会
12月 4日	肉用牛振興事業に係る肉用雌牛体型調査検討会（与那国）
7日	全国和牛登録協会支部長会（京都）
21日	やんばる・今帰仁村和牛改良組合合同子牛共進会
25日	高等登録及び雌牛改良促進事業講習会（多良間村、宮古島市～27日）
26日	アグーブランド推進協議会
平成31年 1月17日	世界一おいしいアグー豚作出事業推進会議
23日	全国和牛登録協会支部長会議、産肉能力検定委員会（～26日）
30日	優良生産推進事業講習会
31日	高等登録及び肉用雌牛体型調査検討会（黒島）～2月1日）
2月 5日	三役調整会議
6日	第1 2回全共準備委員会
7日	中部和牛改良組合子牛共進会
8日	指定種豚場連絡協議会種豚改良懇談会
13日	沖縄県酪農振興協議会
18日	三役調整会議
26日	公益法人関係講習会
3月 1日	家畜改良事業団窓口会議（熊本県）
5日	沖縄県共進会協議会運営委員会
6日	肉用牛専門委員会
19日	肉用牛改良協議会、豚改良協議会、山羊振興協議会
22日	第3回定時理事会（予算補正、平成31年度事業計画・予算案、規則改正）、
29日	平成31年度の事業計画、予算書の行政庁届出（電子申請）